

プラント状況確認結果(平成27年3月10日～平成27年3月17日)

平成27年 3月 17日
福島県原子力安全対策課

○ 平成27年3月10日～平成27年3月17日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 平成27年2月24日、福島第一原子力発電所において、高濃度の放射性物質を含む雨水がK排水路から港湾外へ流出していたとの報告を受けました。詳細については[こちら](#)をご覧ください。

⇒ 平成27年2月22日、福島第一原子力発電所の構内側溝排水放射線モニタにおいて、警報が発生し、警報値を超える放射性物質を含む水が港湾内に流出しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

(1) プラント状況(3月17日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.5	4.3	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<u>15.3</u>	<u>20.8</u>	<u>18.2</u>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	8.20×10 ⁻⁴	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系)(体積%)	0.03	0.05	0.06	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	13.5	27.7	22.1	8.8

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(3月17日午前10時)

最小 1.040(MP-6)～最大 3.793(MP-3) マイクロシーベルト/時 →[計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月16日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、6号機取水口前、港湾口)～最大 27(4号機スクリーン) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(3月16日採取分)

5,6号機放水口北側に30m: 検出限界未満 ※検出限界値は0.45 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界未満 ※検出限界値は0.85 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(3月16日採取分)

西門: 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(3月16日採取分)

最小 検出限界未満(3,4号機)～最大 220(2号機) Bq/ℓ

(問い合わせ 024-521-1917)